

### 第3節 災害廃棄物対策への取組

#### 施策24 災害廃棄物の処理手順の検討【継続】

##### 施策の方向性

- 大規模な災害が発生した場合に生じる災害廃棄物の処理を適正かつ迅速に進めるため、事前に処理手順等の検討を行い、災害対応力の向上を図ります。

##### 具体的な取組事項

1	災害廃棄物の処理手順の整備
横浜市防災計画に基づき、損壊家屋等の解体撤去、収集運搬、仮置場の設置、中間処理及び最終処分等の処理手順について検討し、資源循環局防災マニュアルを整備します。	
2	防災訓練の実施
横浜市の防災訓練にあわせて、災害廃棄物の処理に関する訓練を実施し、災害廃棄物の処理手順を精査します。	

## 施策25 関係機関との連携強化【継続】

### 施策の方向性

- 本市と協定を締結している民間事業者が保有する資機材等について把握し、発災後の応援要請を円滑に進めます。
- 民間事業者との災害応援協定をより効果的なものとするために、協定の見直し等を検討します。
- 迅速な災害廃棄物の収集、運搬、処理が求められるため、市域を越えた協力体制の確立について検討します。

### 具体的な取組事項

1	民間事業者との連携
産業廃棄物処理業者が所有する車両、選別施設、破碎施設、焼却施設等の数や能力を把握する調査について検討・実施します。建設業者団体、産業廃棄物処理業者団体等との災害支援協定の見直しを検討します。	
2	神奈川県内の市町村における相互協力体制の検討
災害時における神奈川県内の市町村間の相互協力体制について検討します。	
3	警察・消防・自衛隊等との連携検討
災害廃棄物の処理や移動を円滑にするために、警察、消防、自衛隊等の関係機関との連携について検討します。	

## 施策26 仮置場等の設置に関する検討【新規】

### 施策の方向性

- 多量に発生した災害廃棄物を一時的に保管するため、仮置場の確保を図ります。
- あらかじめ仮置場の候補地や仮設処理施設の設置等を検討し、災害発生時に円滑な運用が行えるようにします。

### 具体的な取組事項

1	仮置場候補地の確保（公有地）
公有地のうち、仮置場として優先して使用できる土地の事前整理について検討します。	
2	仮置場候補地の確保（民有地）
民間事業者等が所有する遊休地等を仮置場候補地とすることについて検討します。	
3	仮設処理施設の整備に関する検討
仮設の破碎施設、焼却施設等の必要能力の算定方法や発注方法について検討します。	